

鉄道友の会 2019年度定時総会議事録

作成年月日：2019年 7月 10日

改訂：2019年 7月 23日

確認：

作成者：鹿山 晃

日時：2019年7月6日（土）13時30分～16時40分

場所：北とぴあ（東京都北区王子）7階 第2研修室

出席者：

（役員）

須田 寛会長、久保 敏副会長、柚原 誠副会長、松田副会長、関 崇博専務理事、内田隆夫、大幡哲海、荻原俊夫、小野田滋、加藤幸弘、亀井秀夫、鹿山 晃、下田晃市、登山昭彦、二宮敬彦、服部朗宏、日比政昭、山口 進 各理事、千代村資夫、監事（以上19名）

（代議員）

[正会員からの推薦]

井口昌樹、宇田賢吉、海老澤賢治、片岡 薫、小菅一己、佐藤浩也、塩屋敏之、新谷一郎、須永 望、高田 圭、高石 修、富永一正、中村 稔、西川 要、橋本政明、濱道輝章、原 英喜、平野正範、古屋憲隆、松嶋克廣、真鍋裕司、前田善弘、水澤宗和、三宅弘晃、吉田行男 各代議員（以上25名）

[研究会からの推薦]

藤田吾郎（客車気動車研究会） 兵頭俊康（西鉄研究会）、各代議員（以上2名）

[支部からの推薦]

斉藤 凌（北海道支部）、武田 守（山形支部）、大島登志彦（北関東支部）、山口長之（東京支部）、榎木丈彦（新潟支部）、藤岡博信（長野支部）、増田 昭（静岡支部）、野上基長（名古屋支部）、坪倉則孝（阪神支部）、名本 学（中国支部）、森川 厚（四国支部）、日下博文（九州支部）各代議員（以上12名）

[理事会からの推薦]

秋元克広、後藤文男、佐藤竜一、竹上潤司、中山嘉彦、三宅俊彦、光永悠一、焼田 健 各代議員（以上8名）

委任状提出者：

（役員） 西尾恵介監事（以上1名）

（代議員）

[正会員からの推薦]

塩谷敏之、滝澤宗高 各代議員（以上2名）

[研究会からの推薦]

（以上0名）

[支部からの推薦]

本田正博（秋田支部）、卯野一郎（北陸支部）各代議員（以上2名）

[理事会からの推薦]

深見夏好、焼田 健各代議員（以上2名）

会議経過：

1. 加藤理事の司会により、開会した。

2. 開会にあたり、須田会長が挨拶を行い、三点の課題が提起をされた。

(1) 会員数3000名を守る。より一層の会員確保の為の努力をお願いする。

会員数は昨年比若干減少したが、一昨年比ではプラスした。会員数は横ばいの状況となりそれを実感している。この会員3000名を不退転の決意での努力を引き続きお願いする。全国規模の活動団体として認定されるためには3000名が最低のラインである。活動が活発な支部は会員がむしろ増加する傾向である。地方の活発な活動を期待する。会員維持のための皆様の努力に感謝するとともに今後一層の会員増加へ向けての努力をお願いしたい。

(2) 鉄道車両の重要文化財化推進活動の継続

鉄道会社はその責任で保存すべきものと言う認識を持ってもらうことが重要である。文化財の候補車両をリストにして提出してきた。近代化遺産⇒重要文化財化を今後も推進する。今年は、国産気動車を対象に、リニア館の蒸気動車ホジ6014が指定された。重要文化財も鉄道会社での古い車両の保存がますます難しくなるが、何とか文化財として将来に残す努力を続けて行きたい。

(3) 障害者への催しの試行

軽度の障害者、特に自閉症患者の運転シュミレーション操作による症状の改善の期待への協力の一環として試験的に鉄道友の会の活動として静岡運転所にあるシュミレーション操作体験を行った。本人の気持ちや関係者への好評を受けてリニア館の700系のシュミレーションを使った第2回の体験会を開催した。今後本人が会員であることを条件にリニア館のシュミレーションの優先割り当て利用を実施していきたい。この活動に関しては友の会内への情報にとどめ外部への公表等はしない。

3. 総会規程第3条の規定に基づき、松田副会長が議長に就任した。

4. 議事経過は次の通り。

(1) 総会規程第4条の2第3項の規定に基づき、議事録作成者として鹿山理事・事務局長を選任することが議長から提案され、了承された。

(2) 総会規程第4条の規定に基づき出席者・議決権行使者数について、議長からの求めに応じて内田理事から、現開会時点で79名中68名の出席者および有効委任状提出者7名（議長を指定）で、議決権行使者数75名との報告が行われ、会則第20条第3項の規定に基づき、本総会が成立したことが確認された。

【参考】最終出席者・議決権行使者数内訳は下表の通り。

| | 現員 | 議決権行使者 | | |
|-----|-----|--------|--------|-----|
| | | 出席者 | 委任状提出者 | 合計 |
| 役員 | 20名 | 19名 | 1名 | 20名 |
| 代議員 | 59名 | 49名 | 6名 | 55名 |
| 合計 | 79名 | 68名 | 7名 | 75名 |

(3) 総会規程第5条第1項の規定に基づき、

赤井淳一、石井政光、大前秀之、大原雅嗣、奥田真吾、片山貢、佐藤百實、庄司雅治、佐藤滋恭、

末重剛、末重健一、寺島栄一、橋口正勝、楨村慶造、山崎達男、矢澤康行、武田利久の17会員から申し出のあった傍聴について許可した旨、議長から報告が行われた。

- (4) 事前に書面で提出された質問・意見に対して、その原文および本部回答要旨について纏めた「事前質問等・同回答要旨」を、事前に配布している。限られた時間内で、適切かつ迅速に議案審議を進めるため、皆様のご協力をお願いする。

【第1号議案】 2018年度運営報告承認の件

【第2号議案】 2018年度収支決算報告承認の件

議長から両議案について一括して審議する旨が提示され、関専務理事から運営報告について、二宮理事から収支決算報告について、千代村監事から監査報告について、それぞれ議案書に沿って説明が行われた。

引続き質疑に移り、松嶋克廣代議員（合計1名）から質問・意見が口頭で提出され、それに対して、関専務理事、下田理事から回答が行われた（詳細後掲）。

なお、事前に書面で提出された質問等は回答と併せ事前質問回答書として別途添付を参照されたい。

その後、挙手による採決に入り、2018年度運営報告、収支決算報告は、原案通り承認された。

【第3号議案】 2019年度運営計画案承認の件

【第4号議案】 2019年度収支予算案承認の件

議長から両議案について一括して審議する旨が提示され、関専務理事から運営計画案について、二宮理事から収支予算案について、それぞれ議案書に沿って説明が行われた。

引続き質疑に移り平野正範、原 英喜、日下博文、松嶋克廣 各代議員(合計4名)から意見・質問6件が口頭で提出され、それに対して、関専務理事、下田理事、加藤理事、大幡理事、服部理事から回答が行われた（詳細後掲）。

その後、挙手による採決に入り、2019年度運営計画、収支予算案は、賛成多数により原案通り承認された。

【第5号議案】 役員選考会を構成する代議員選出の件

総会規程第7条3項および総会規程の運用に関する内規第1条の規定に基づき、役員選考会を構成する代議員として、3名を選出することが関専務理事から提案された。

挙手による採決に入り、賛成多数により原案通り承認された。

- 5.議案審議終了で予定時間より早く提出議案審議を終了、松田議長は降壇した。

第5号議案で承認された代議員を関専務理事より紹介した。

- 6.定時総会の提出議案審議終了が司会の加藤理事より宣され総会審議が終了した。

【質疑応答内容の詳細】

【第1号議案および第2号議案】

当日提出質問の要旨およびその回答要旨

(1) (松嶋克廣代議員) 1号議案

- ・任命書について事前質問(1-23)で回答があったが、経費節減の観点から任命書の交付は不要ではないか。

(本部)

- ・ご意見としては承り検討します。一つのけじめとして作成は継続したいがその様式については考えたい。

(2) (松嶋克廣代議員) 1号議案

- ・支部で行う行事の本部共催としたい場合の手続き方法について、手続きの仕方を明確にしてほしい。書式を作成したらよいのではないかと思う。

(本部)

- ・現時点では声を掛けていただき処理しているが、不徹底になる恐れがあるのでご提案の書式作成を検討したいと思います。

【第3号議

案および第4号議案】

当日提出質問、意見・提案等要旨およびその回答要旨

(1) (平野正範代議員) 4号議案

- ・予算案行事費が昨年から半減の40万円となっているが行事担当理事のモチベーションは下がらないか。

(本部)

- ・下がることはありません。今年の行事は昨年より増加の予定。行事ごとに収入支出でバランスをとっている。昨年の決算額を基にしている、上限や制限が掛るものではない。

(2) (原 英喜代議員) 3号議案

- ① 本部、支部間のコミュニケーション強化のためにメールアドレスの提出依頼があったがどのように活用するのか、運用方法、日程に具体案はあるか。

(本部)

- ・コミュニケーションの欠如により発生した問題が散見される状況で強化のためのツールとして活用したい。具体的な活用方法は今後検討していく。

- ② 事前質問の書類送付先のメールアドレスは時限的な存在だが、常時オープンにできないか。

(本部)

- ・先の質問の件と併せ別途回答いたします。

(3) (日下博文代議員) 3号議案

- ・事前にも質問したが、顕彰活動、エバーグリーン賞、グローリア賞、シルバー賞を復活させてほしい。問題があったとの事だがどのような問題であったのか。

(本部)

- ・2002年まで実施していたが以下のような意見があり休止している。

グローリア賞：趣味団体が会社の経営評価するのは如何なものか。エバーグリーン賞：古い車両は趣味的には興味の対象だが鉄道事業者にとっては早く処分したい対象であり考え方が違う、表彰されても困る。シルバー賞：年配者のイメージがあり受賞を拒否した対象者がいた。名称

を鉄道趣味貢献賞と変更したが、趣味は個人の活動でありそれを評価することは好ましくない。

(4) (松嶋克廣代議員) 3号議案

① **RAILFAN**の内容充実にとって鉄道と無関係の記事(写真のデジタル化)を掲載するのはどうか。
(本部)

・デジタルカメラでのスキャニングをする方法を説明した以前の記事は評判が良かった。
それを発展させた記事として掲載した。写真は趣味の大きな分野であり要望も多かった。意見としては承るが、趣味の一環としてご理解をいただきたい。

② 友の会の会員として危険な行為を行った会員の処罰、会員増加などの貢献をした会員への褒賞を実施できないか。

(本部)

・会則第8条除名、第9条名誉会員の規程に則る。個人的には永年会員への感謝を表す表彰等が必要と考える。

③ BL賞のウェブ投票を検討できないか。

(本部)

・技術的には比較的容易に実施が可能である。会員の環境の確認等運用方法の検討が必要。並立は無理、検討課題としたい。

[第5号議案]

当日提出質問、意見・提案等要旨およびその回答要旨

(なし)

引き続き、同会場で、下記報告会を開催。

【支部・研究会の活動報告、情報交換会】

司会：加藤理事（組織担当理事）

始めに、組織担当加藤理事から、「本部と支部の関係」について機構改革経緯および現況解説があった。

- ・2005年の機構改革の目的、支部の自律・自主性尊重後、12年以上経過。今後の本部と支部の関係改善についての見直し。
- ・会員数の表は支部費一括納入の会員数を示していて支部に直接会費を納入している会員もいるのでこれがすべてではない。
- ・近い所の支部に参加できるような体制にできることがベターである。

※配布資料「鉄道友の会の本部と支部の関係」

支部・研究会活動の紹介、PR・報告・提案を、各支部・研究会選出代議員からお願いする。（各持ち時間3分）

(1) 九州支部：会員105名、創立60周年を迎えた。鹿児島市交通局がローレル賞を受賞した。南阿蘇鉄道の見学会を行った。第2土曜日北九州、第3日曜日福岡で定期例会を開催。熊本電鉄の撮影会、キハ66,67の引退関連行事を予定している。

(2) 四国支部：6月に総会、4県持ち回り、今年は香川県で琴電のレトロ電車運行に合わせた。レトロ電車10-15万円で貸切ができる。

- (3) 中国支部：スカイプ使用による例会への遠隔参加の試験実施報告。第3日曜日に広島市で例会開催、参加不可の会員への救済措置。広島県以外の会員が対象。ウェブカメラとマイクスピーカーを使用。PCで画面共有する。Wifi環境下で実施が可能を確認できた。中国支部以外の支部、研究会との合同例会を呼びかける。
- (4) 東中国支部：活動の中心は地元イベントへの協力、廃線跡歩の実施。今後ウェブサイトを活用した応募等を実施していきたい。
- (5) 阪神支部：支部行事17件実施。サークルが4サークルある。画面で活動を紹介。本部共催行事神戸電鉄復刻塗装、能勢電7200、南海6000、山陽5700、神戸復刻塗装第2弾1357、神戸市交通局6000。支部単独JR221、支部でヘルメットとジャケットを準備、阪神5500、比叡、元有田鉄道バスツアー、大阪モルレル、高野山ケーブル、吹田工場ケモ52、山陽3200、神戸市6000試乗会、JR321大阪東線試乗会、阪急雅洛。月1件を目標としている。
- (6) 京都支部：会員145名下げ止まりで会員数維持。京都エリア以外でも撮影会を行い撮影会実施地区から支部会員になって会員になっている。8/1叡電みどりきららの撮影会を予定。第3日曜日に例会(京都アスニー)、2ヶ月に一回支部通信、年2回車両基地という支部報を発行している。カメラハイクも実施。
- (7) 名古屋支部：6ページ資料配布。会報パノラマ、紙会員とウェブ会員を分離している。会員数260名前後で推移。印刷代が増加している、ウェブ環境にない会員が100名以上存在する。70%が愛知県の会員。高齢化が進んでいる。会報への投稿をして欲しい。三岐鉄道、樽見鉄道、愛知環状鉄道、リニア鉄道館でNゲージ模型運転会、名古屋臨海鉄道、大垣車両区、岐阜模型運転会、名古屋がトウカバス、近鉄つどい等の撮影会を実施。
- (8) 静岡支部：支部報 展望車年間5回発行、次回200号を迎える。RAILFANにそのつど活動を掲載。支部長交代 石川前支部長退任、後任は増田新支部長。
- (9) 福井支部：福井県のみがエリア。みんな仲良くがモットー。奇数月に福井で例会（アオッサ）、支部報を発行、7月で185号を迎えた。7月は明知鉄道、11月は福井鉄道鯖浦線廃線跡で実施予定。福井鉄道200形、市民グループと共同で保存活動を推進した結果、越前市が保存の予算化をした。デキ3、デキ11保存は無理と思われ記録を残す方向で冊子を発行した。福井県内の鉄道は活性化している。
- (10) 長野支部：JRE353ローレル賞贈呈式実施。本部共催で実施。支部報サロハユニフ、しなの鉄道が直接情報を提供している。9月長野電鉄で硬券販売、協力する。会員数が減少している。
- (11) 新潟支部：奇数月屋内で情報交換、偶数月屋外で撮影会、見学会を実施。昨年1回市民を対象に記念講演会。新津鉄道記念館のフェアにブースを設置。会の紹介、写真販売。会員50人前後、増加対策を実施している。
- (12) 東京支部：参考資料配布。支部費は一本化、通信費として1000円を徴収。支部費のみ288名、通信費込み212名。支部員数下げ止まり状態。見学会、撮影会実施、共同行事が多かった。鉄道会社以外の日本信号、京王重機の見学会を実施した。テリトリー内での会員は35%で勧誘を実施し

た結果15名新会員を獲得した。

- (13) 北関東支部：6月に茨城、群馬、栃木3県持ち回りで総会を実施。60名前後の会員数。支部会誌シリコン発行と見学会が活動の中心。周辺支部との連携企画を実施している。保存車輛が多く見学会を企画。
- (14) 山形支部：会員25名。家族も含めたお泊り例会を実施。会員獲得に有効。
- (15) 北海道支部：活動報告のフォーマットを作成して配布する方法を検討して欲しい。会員71名、微増80名を目指す。定山溪鉄道廃線跡見学。北海道鉄道サミットに参加した。札幌線末端区間、札幌機関区見学、函館地区見学を予定している。
- (16) 車両記録研究会：2005年設立、会員18名。メーリングリストで情報交換。例会、会報はない。撮影会随時、形式写真を記録する。越後ときめき、相鉄20000、小田急LSE、相鉄20000,7000。きちんとした記録は趣味者の役割であると認識。順光側中2線
- (17)西鉄研究会：会員20名。西鉄レイルキッチン、筑豊電鉄の記録を紹介。
- (18)客車・気動車研究会：会員100名横ばい。例会毎月、会報食堂車の内容検討。気動車が最近物足りない状況。

下田理事より

SNSを使った情報交換プラスメッセージを使い支部本部間、支部同志の情報交換。支部参加を呼びかけした。

16時40分、活動報告・情報交換会を終了、2019年度定時総会を終了した。

引続き関連して以下の行事が開催された。

- (1) **2019年度第3回理事会（16：40～17：00）** 同所で開催
内容は、2019年度第3回理事会議事録参照
- (2) **懇親会（17時00分～18時45分）**
北とびあ内 王子東武サロン 10階「天覧の間」で開催。
参加会員：役員13名、代議員35名、傍聴会員13名 61名

以上